



きらり大旅行(うだアニマルパーク)



2021年10月

以前からも事業所全体で外出の取り組みを行っていましたが、今年度から遠方への外出は「きらり大旅行」と名目し、「コロナ禍の状況も落ち着いてきた段階でやっと実施する事ができました。」

普段から子どもたちから「動物を見に行きたい!」「大きな遊具で遊びたい!」という声が多かったので、その希望が叶う場所を職員で検討した結果、奈良県にある「うだアニマルパーク」へ行く事に決定しました。

旅行が近づくとつれて、「旅行の日はお弁当作ってもらうねん」「羊さんとか牛さん近くで見れたらいいなあ」など、友達同士でおしゃべりしている姿を見て、わくわくしている様子が感じられました。



みんなの願いが通じたのか、当日は絶好の旅行日和で、みんな意気揚々と車に乗り込み出発しました。無事にうだアニマルパークに到着したら、まずはみんなが楽しみにしていたお昼ご飯の時間です!

昼食は密になる状況为了避免するため、グループに分かれて食事をしました。他のルームのお友達も交えながら、お弁当の中身を見せ合い、お喋りを楽しむなど、普段はあまり接する機会のないお友達とも交流する機会となりました。

昼食後は先に動物と触れ合うルームと遊具で遊ぶルームとに分かれて、園内の散策を行いました。園内には羊や牛、馬やウサギなど様々な動物が飼われていて、「かわいい!」「大きい!」など、子どもたちから大きな歓声があがっていました。

とても大きな牛や馬を見た時に「こわい」と泣

き出しそうになる児童中にはいましたが、職員が寄り添うと安心して観察することができていました。遊具広場にはとても長いスロープの滑り台まで走り出していました。「わーい」「きゃー」と歓声をあげて何度も滑り、みんな時間もお尻の痛みも忘れて遊んでいました。



帰りの車中では「近くで牛を見たらめっちゃ大きくてビックリした!」「滑り台が長くて楽しかった」「ママの作ってくれたお弁当美味しかった」など、様々な感想が出て、みんなニコニコした表情で聞く様子も見られ、思い出に残る一日になったことが感じられました。

コロナウイルス感染状況にもよりますが、今後もみんなの中で思い出深い旅行となるような、行き先や内容を考え取り組んでいきたいと考えています。